

平成29年度 第2回学校評議員会の報告

1 日 時 平成30年2月22日（木）10:00～11:30

2 場 所 本校会議室

3 出席者 学校評議員

A評議員（交流学校長） ※都合により欠席

B評議員（地域行政区長）

C評議員（福祉行政代表）

D評議員（関係機関代表）

E評議員（地域行政区長）

F評議員（本校PTA会長）

以上 5名

学校職員 校長 副校長3名 事務長 総括教務主任 小学部主事
中学部主事 高等部主事 進路指導主事 寮務主任
特別支援教育センター部長

以上12名

4 次 第

(1) 開 会

(2) 校長挨拶

インフルエンザが全国的に猛威を振るい、学級閉鎖、学年閉鎖とある中、本校は何とか子どもたちの健康面は保たれているところです。大きな事故もなくここまで来られたのも支援していただいている皆様からの心遣いをいただいているおかげです。心からお礼を申し上げます。

今年度の冬はご覧のとおりので、通学路も大変な中ですが、安全確保しながらやってきました。雪の中でのウインタースポーツ（雪遊び）は、子どもたちにとっては良い活動になっていると思います。

今年度のまとめということで、各学部から様子をお知らせするとともに、学校評価も行いましたので、取組の結果についてもお伝えし、ご意見をいただければと思います。我々教員は、学校の中での話し合いだけでは考え方がどうしても利己的になってしまいますので、常に児童生徒、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、外部関係者の皆様からご意見をいただきながら今後に生かしていきたいと思っています。

今回、学習指導要領が変わり、その中で強調されていることとして、学校で今、何を教え、子どもたちをどのように育てるのか、そのためにどのような教育をしていくのか、地域の皆様にもオープンにして様々な意見を聞いて取り組むことが明記されています。今までそういうことをやってきてはいたのですが、それをきちんと再度確認しながら地域の中の学校として取り組んでいきたいと思っています。

(3) 議 題

ア 【平成29年度学校経営の重点に迫る取組の結果について】

- ・「平成29年度学校経営の重点に迫る取組の結果」について、各学部主事、寮務主任、副校長より取組の様子をスライド写真で紹介ながら説明
- ・各校務部の取組の結果について、資料を基に副校長、総括教務主任、寮務主任より説明
- ・進路指導主事より、資料「卒業生進路報告」について説明

- ・特別支援教育センター部長より、資料「特別支援教育センター部の支援状況並びに課題」について説明
〈質疑意見〉特になし。

イ 【平成29年度学校評価集計結果について】

- ・「平成29年度学校評価集計結果」について担当副校長より説明
〈質疑意見〉特になし。

ウ 評議員提言

＜E評議員＞

- ・ 地域との関わりとして、日曜日の開催行事ではあるが、地域の行事に何らかの形で一緒に参加できないか（1月 小正月、6月 ふるさと交流まつり、3月 ひなまつり）。
- ・ 当地区は自主防災に力を入れている。自主防災組織への更なる協力をお願いしたい。平成30年4月から当地区が花巻市の交通安全指定地域となる。学校と連携して取り組めないか。
- ・ 太田小学校、西南中学校では、地域の偉人である高村光太郎にちなんだ行事を取り入れている。学校の方でも地域と一緒に取り組めないか。
- ・ 学校の行事案内等、当方に持ってきていただければ広報活動協力として地域に回覧していきたい。

＜C評議員＞

- ・ 卒業生の進路指導に感謝している。未定の方の指導も継続してほしい。
- ・ 学校評価について、回答率から見て関心が高いと感じた。良い面、悪い面を次につなげていって改善してほしい。
- ・ 保護者対応には、学校の繊細な対応が求められる。

＜D評議員＞

- ・ 同じく、施設の立場から、学校評価では保護者に対する対応では、丁寧な対応が求められると思っている。
- ・ 通所施設（生活介護）は固定化しないようにして、学校の多くの子どもたちに利用してもらいたい。
- ・ 事業所との情報交換は今後とも行っていきたい。
- ・ 災害時の引渡について、お互いにすり合わせを行っていきたい。

＜B評議員＞

- ・ 地域、多くの学校との交流は素晴らしい取組だと思う。
- ・ iPad、タブレットの活用など最新の教材教具を取り入れていて素晴らしい。
- ・ 学校評価について、うまくいかなかった部分もあっても良いと思う。マイナスの分の対応をお願いしたい。

＜F評議員＞

- ・ 例年になく雪が多いが、除雪をしていただき感謝している。安全・安心につながっている。
- ・ 学校評価は、アンケートをとって集計し改善につなげていくが、自由記述に記入した人の気持ちを吸い取ってほしい。

- ・ 児童生徒用のアンケートの質問の文言を見ると、質問が100%子どもたちに伝わっているのだろうか。小学部、中学部、高等部と発達段階に応じた表現、文言の整理をお願いしたい。また、伝えたいのに拾ってもらえない部分もあると思うので、備考欄、自由記述欄を設け吸い上げてほしい。

エ 学校長より

- ・ 学校には試行錯誤の状態のところがある。学部、分掌で反省して少しでも動きやすいものにしていきたい。もちろん子どもたちが主役であることには変わりはないが、子どもたちがワクワクするような仕掛けが、十分であるかどうかを検討しながら教育活動を行っていきたい。
- ・ 学校評価ではいろいろな立場、見方があるのは当たり前のことである。子どもたちの気持ちはどこから来るのか、逆の立場であればどうなのかなども、社会人になったときには主役になることも鑑みて指導を行っていきたい。
- ・ 地域の行事等にも参加することを検討していきたい。
- ・ 安全・安心に関して、最善の方法を探りながら進めていきたい。
- ・ いつでも来校して子どもたちの様子、授業の様子をご覧になっていただきたい。

(4) その他
特になし

(5) 閉 会

以上